

各関係機関の長
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

令和7年度病害虫防除情報第3号

斑点米カメムシ類について、各地域の発生状況を把握しながら適切な防除指導をお願いします。

斑点米カメムシ類の防除対策の徹底を図りましょう。

- 1 作物名 早期水稲
- 2 病害虫名 斑点米カメムシ類

3 発生状況（経過）

- 1) 6月上～中旬のイタリアンライグラスほ場におけるすくい取り調査（41地点調査）では、斑点米カメムシ類5種（ミナミアオカメムシ、クモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ、シラホシカメムシ、アカスジカスミカメ）の発生程度（20回振りすくい取り虫数）は25.4頭（平成44.4頭）で、平年に比べてやや少ない発生であった（図1）。
- 2) 同時期の早期水稲ほ場におけるすくい取り調査（33地点調査）では、カメムシ類（ミナミアオカメムシ、クモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ、シラホシカメムシ、アカスジカスミカメ）の発生程度（20回振りすくい取り虫数）は0.70頭（平成0.78頭）で、平成並みの発生であった（図2）。

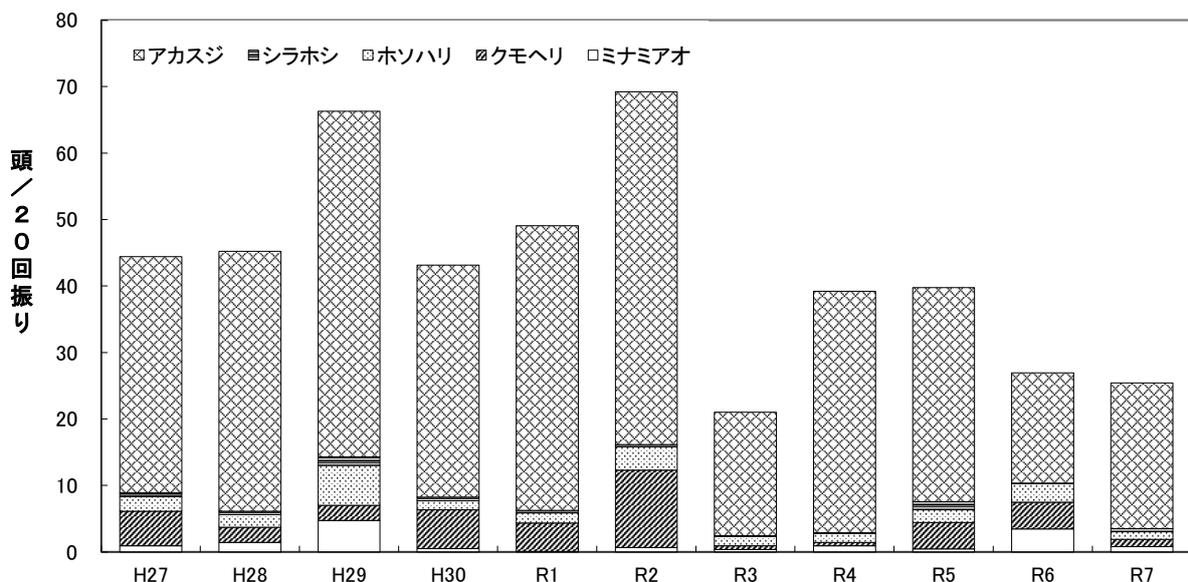


図1 イタリアンライグラスほ場における斑点米カメムシ類すくい取り調査結果
(斑点米カメムシ類5種の年次推移)

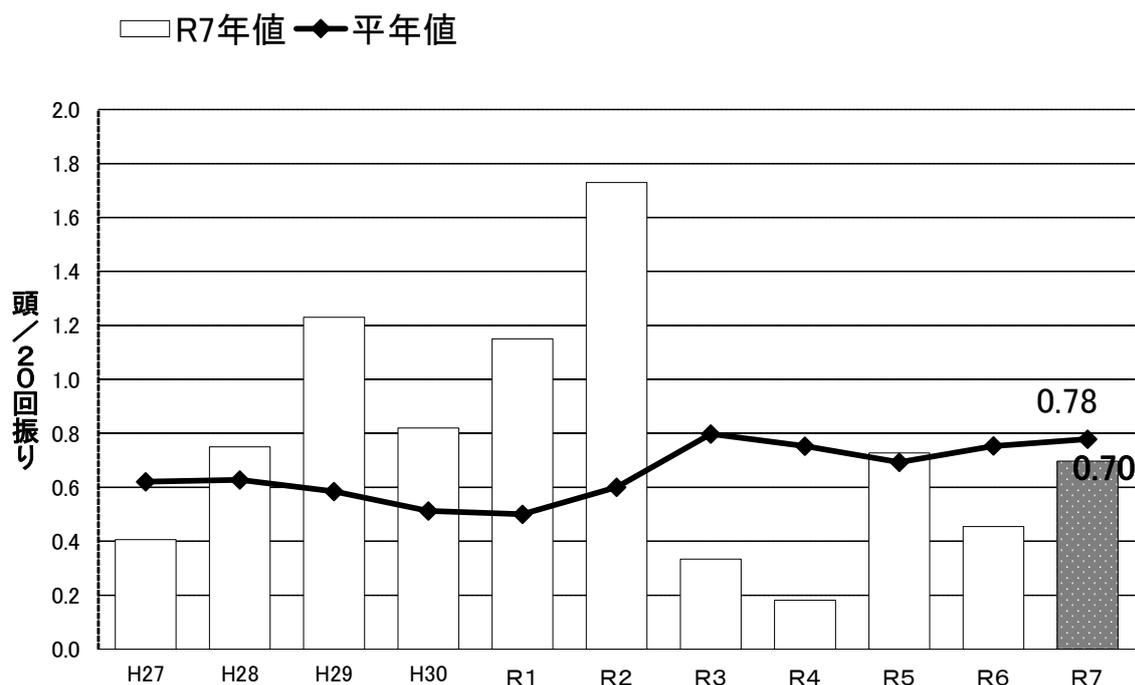


図2 早期水稲ほ場における斑点米カメムシ類すくい取り調査結果
(斑点米カメムシ類5種の発生程度の年次推移)

4 防除上の注意

- 1) 防除は穂揃期とその7～10日後の2回防除を基本とするが、発生が高密度の場合はさらに追加防除を実施する。
- 2) 地域全体の発生密度を下げるため、可能な限り、広域での一斉防除を実施し、防除効率を高める。
- 3) 農薬を使用する際は、必ず容器ラベルの登録内容を確認すること。
- 4) 散布の際は、周辺の作物の栽培状況を確認し、他の作物へ農薬が飛散しないよう対策を講じる。

5 その他

6月1日から8月31日の3か月間、農薬危害防止運動を実施しています。農薬散布にあたっては、ラベル表示の確認を十分に行い、農薬使用基準を遵守し、危害防止に努めましょう。

《連絡先》

宮崎県総合農業試験場病虫害防除・肥料検査課

(病虫害防除・肥料検査センター) 後藤、清

TEL : 0985-73-6670 FAX : 0985-73-2127

E-mail : byogaichu-hiryu@pref.miyazaki.lg.jp

HP: https://hinatamafin.pref.miyazaki.lg.jp/soshiki/noshi_byogai/index.html

